



新谷小学校では、子供たちの「がんばり」を伝え、みんなでさらにレベルアップできるように『自主学習花まるノート』という掲示コーナーを作りました。みんながレベルアップした様子を知っていただくために掲示し、いずれは全学年のノートを順次公開する予定です。参観日等にぜひご覧ください。



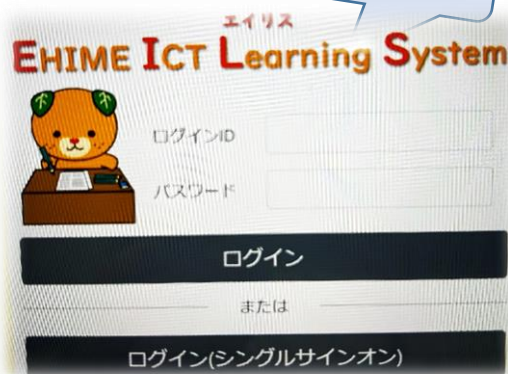
見たことはありますか？

子供たちのタブレットに「^{えいりす}EILS」「スマイルドリル」などのアプリが入っていますが、見たことはありますか？

「^{えいりす}EILS」は、愛媛県が作成している学習システムです。3年生以上はチャレンジテストや県学力診断テストが行われたり、タイピング検定ができたりと、いわゆるICT活用の力を高めるために活用しています。子供たちの行ったテストや調査等の結果を度数分布や平均点で見ることができます。

読書の記録も「みきゃん通帳」という電子版が始まりました。学校でも家庭でも、デジタルとアナログのバランスを取りながら活用していきたいものです。

こんな画面です！



おすすめ情報 「聞く力は読み聞かせから」



小学校は、学びの土台となる「考える力」を育てる大切な時期です。この時期に、ご家庭でどんなことをすればいいのか、幼児教育の専門家がこんな具体的な話をしています。

『この時期に大事なものは、具体的なモノに触れながら考えることと、自分の考えを言葉で表現することです。たとえば、食べ物やおはじきなどのモノと一緒に数えたり、まとまりをつくったりする体験を重ねることです。言葉で表現するためには、「聞く力」を育てなくてはなりません。これには、**読み聞かせ**がおすすめです。小学校中学年までは、読み聞かせをやってあげてください。高学年は親子読書や新聞を読むことがおすすめです。聞く力があれば、言葉の意味を正しくとらえながら、頭の中でイメージを膨らませることができるようになります、言葉で表現することにつながります。』**まずは、短いお話から読み聞かせをやってみませんか？**

参考文献 朝日小学生新聞 教育コラム 久野泰可氏「学びの土台となる考える力」より